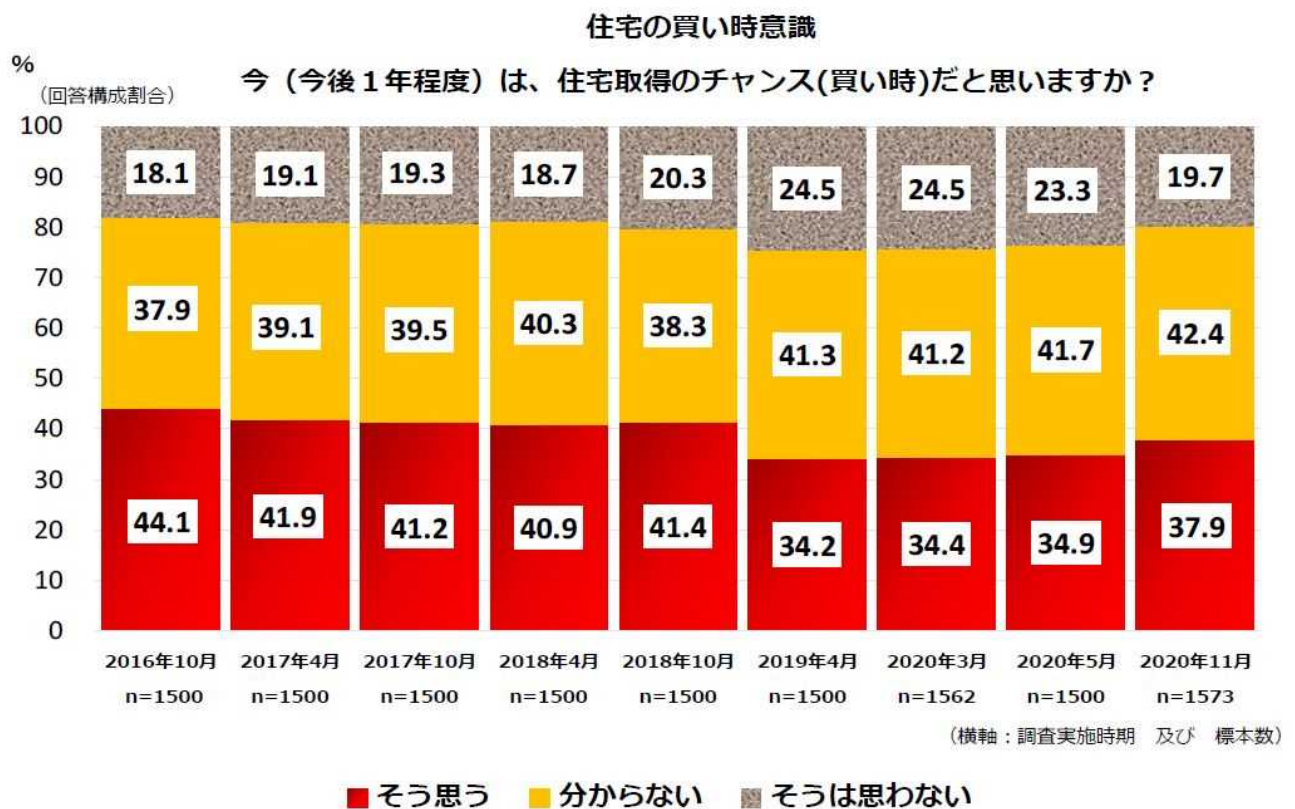


穴吹不動産流通株式会社 広島店 市況レポート（1月）

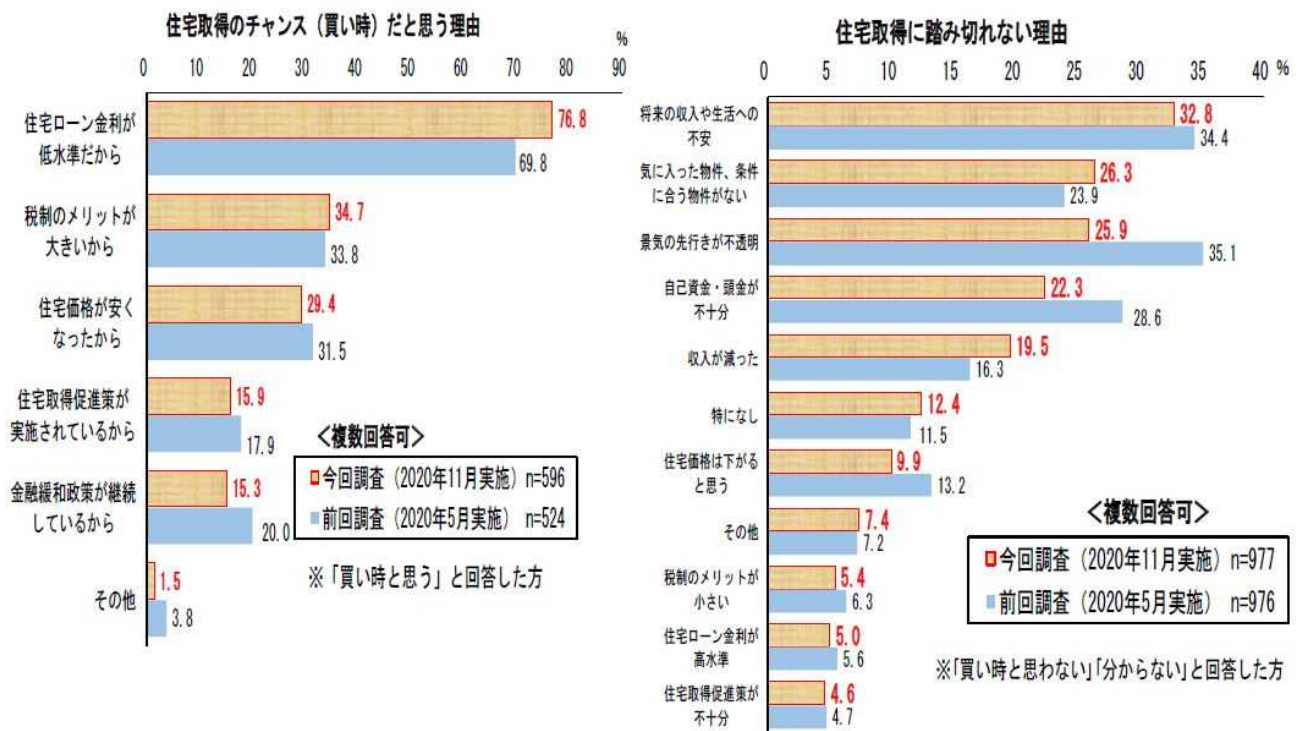
2021年1月26日に独立行政法人 住宅支援機構 国際・調査部より「住宅ローン利用者の実態調査」の結果が発表されました。今回はこれについて解説します。

（2020年11月 調査分）

1. 今（今後1年程度）は、住宅取得のチャンス（買い時）だと思いますか？


昨年3月の調査時と比較すると、昨年11月は「買い時だと思う」と答えた方が約3%増加しています。コロナ禍でも買い時と考えている方が増えているのは興味深いですね。

2. 住宅の買い時だと思ふ理由、住宅取得に踏み切れない理由として



買い時だと思っている方は、「住宅ローンが低金利」「税制のメリットが大きい」「住宅価格が安くなった」などの理由を挙げています。

逆に、住宅の取得に踏み切れない方の理由としては、「将来の収入や生活への不安」「気に入った物件がない」「景気の先行きが不透明」などを挙げています。

「まとめ」

住宅購入の実態調査では、住宅取得のチャンスであると考えている方が4割近くになっています。コロナウィルス感染の終息が見えない中で、将来に不安がある状況ですが、購入検討者にとっては、「低金利」「税制優遇」が大きなメリットとなっているようです。また、外出自粛となりリモートワークになったことで、住まいについて家族と話す時間が増えたことも要因と考えられます。

不動産の売却をお考えの方は、ぜひ「あなぶき不動産流通」にご相談ください。

直近の取引事例やご所有不動産の取引価格推移などを詳しくご説明いたします。

また、不動産の有効利用もご提案いたしますので、お気軽にご連絡をいただけれ

ばと思います。よろしく願いいたします。